

熊本県電子入札共同利用システム

熊本県 電子入札共同利用システム 説明資料

平成17年6月

熊本県土木部監理課

電子入札システムについて

電子入札システムの操作方法

電子入札システムについて

1 . 電子入札システム導入の背景

熊本県では平成17年10月稼働を目標に「**電子入札共同利用システム**」を構築中です。

電子入札共同利用システム導入には以下の背景があります。

1 e-JAPAN重点計画

ITに対応した高度かつ効率的な行政運営の実現

2 CALS/EC地方展開アクションプログラム

国土交通省の推進する公共事業に関する事務プロセスの電子化

3 熊本県CALS/ECアクションプログラム

公共事業における情報の電子化を推進し、行政サービス向上を実現

電子入札システムの導入へ！

2 . 電子入札システムのメリット

県・市町村共通

電子入札が導入されると次のような効果（メリット）が期待できます。

1 業務効率化及びコスト縮減

業務効率化による人件費や入札に参加するための移動時間の減少等、コスト縮減が図られます。

2 手続きの透明性・公正性の確保

入札に関する事務手続きの透明性、公正性が向上し、適正な競争が推進されます。

3 行政サービスの向上

誰でも簡単に入札に関する情報を入手できる等、行政サービスが向上します。

3 . システムの概要 (1)

県・市町村共通

電子入札システムでは、次の2つのシステムを利用します。

電子入札システム

インターネットを使って入札を行うシステムです。入札参加者は、会社の事務所にいながら入札に参加することができます。

利用時間 9:00 ~ 17:00 (土、日、祝祭日を除く)

入札情報公開サービスシステム

発注予定、案件公告、入札・契約結果、有資格者等の情報をインターネット上に公開します。入札結果をすぐに確認することができます。

利用時間 24時間利用可能(一部システムメンテナンス時間を除く)

3 . システムの概要 (2)

県・市町村共通

入札書の受付、開札、落札結果公開等、

入札に関する一連の業務を電子化します。

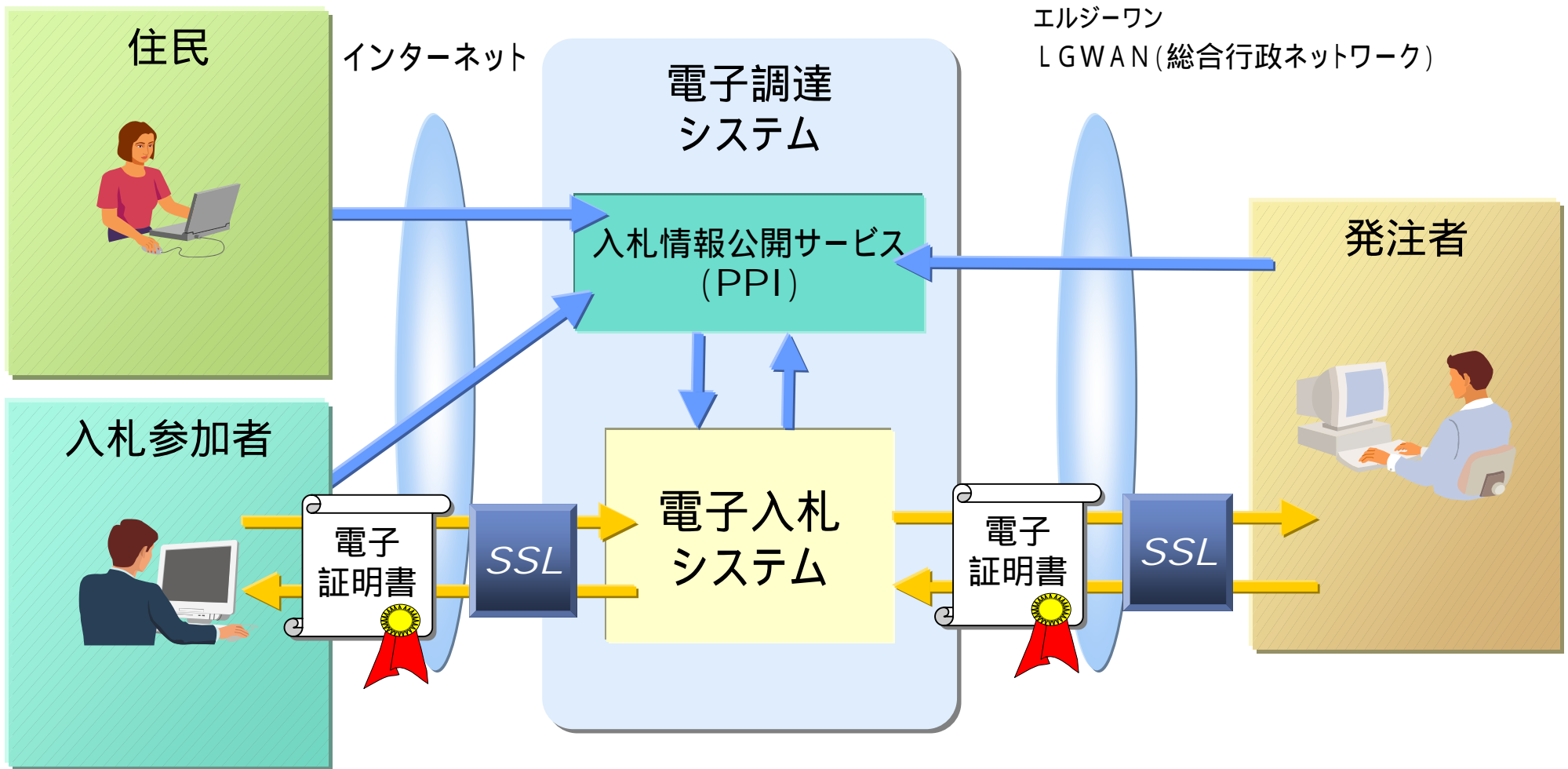
一般競争入札、条件付一般競争入札の場合



設計図書や図面の閲覧については、従来どおり来庁していただく必要があります。

3. システムの概要 (3)

県・市町村共通



LGWAN: 地方公共団体を相互に接続する行政専用ネットワーク

SSL: インターネット上で情報を暗号化して送受信を行う技術

3 . システムの特徴 (1)

県・市町村

共同利用型のシステム

熊本県と県内の各市町村が共同で利用運営するシステムです。

熊本市は平成 1 7 年 4 月に一部運用開始し、

熊本県は平成 1 7 年 1 0 月に一部運用を開始します。

他の市町村については、「熊本県・市町村電子自治体共同運営協議会」の「電子入札システム部会」において、平成 2 3 年度を目標に電子入札システムへの参加を進めていくこととしております。

3 . システムの特徴 (1)

県・市町村共通

共同化のメリット

1

コストの縮減

- ・共同化により、熊本県・市町村の開発・運用に要するコストを縮減することができます。
- ・事業者や発注者に対する説明会などの事務手続きの合理化を図ることができます。

2

利便性の向上

- ・システムの統一化により、操作方法や画面が統一され、事業者の利便性の向上が図られます。
- ・国・県・市町村の入札について、すべて同一のICカードで対応できます。

3 . システムの特徴 (2)

県・市町村共通

コアシステムの採用

国を始め多くの自治体と共通のシステムとなる
電子入札コアシステムを採用しています。

受注者の画面・操作方法は、国・熊本県・熊本市、また、今後
導入する他の市町村についてもほとんど同じです。

ICカードは、国・熊本県・県内市町村はもちろん、コアシス
テムを採用している他の自治体の入札に参加する場合、同一の
ICカードで対応できます。

4 . システムの特徴 (3)

県・熊本市

対応入札方式

工事

- ・一般競争入札
- ・公募型指名競争入札
- ・希望型指名競争入札(熊本市のみ)
- ・指名競争入札
- ・随意契約

業務等

- ・公募型指名競争入札
- ・希望型指名競争入札(熊本市のみ)
- ・指名競争入札
- ・公募型プロポーザル方式(熊本県のみ)
- ・標準プロポーザル方式(熊本県のみ)
- ・随意契約

物品

- ・一般競争入札
- ・指名競争入札
- ・随意契約

入札方式は市町村によって
異なります。

4 . システムの特徴 (4)

県・市町村共通

入札情報公開サービスシステム

入札情報公開サービスシステムにより電子入札公告案件を容易に検索することができ、詳細な情報をインターネット上でダウンロードできます。

入札結果についても、開札後すぐにインターネット上で閲覧することができます。

熊本県の場合、平成17年度については、電子入札案件のみをインターネットで公表します。

4 . システムの特徴 (5)

県・熊本市

紙入札への対応

電子入札の準備が整わない方のために、平成19年度までの一部運用期間中は、従来の書面による入札の参加を認めます。

熊本市の場合は、郵便入札を認めています。

書面による入札で電子入札案件に参加するためには、紙入札参加承認願の提出が必要になります。

効率的な入札を実施するため、できる限り早急な電子入札への対応をお願いします。

また、システムのトラブルやICカードの更新等により、一時的に電子入札に対応できない場合は、紙入札移行承認願を提出すれば紙入札に移行できます。

電子入札と紙入札の違い

県・熊本市

電子入札対象案件の入札に参加する場合

電子入札で参加する場合

あらかじめ設定された「入札開始日時」から「入札書提出締切日時」までの間に、電子入札システムにより入札書を提出します。

参加者すべてが、特定の時間に同時に入札するものではありません。

紙入札で参加する場合

従来どおり、指定された日時に、指定された場所に入札書を投函します。

熊本市の場合は、入札書提出締切日までに郵送で提出します。

紙入札で参加するには、県・熊本市いずれの場合も事前に承認が必要です。

4 . システムの特徴 (6)

県・市町村共通

電子くじ

開札の結果、同価格の際には電子くじ引きを実施します。

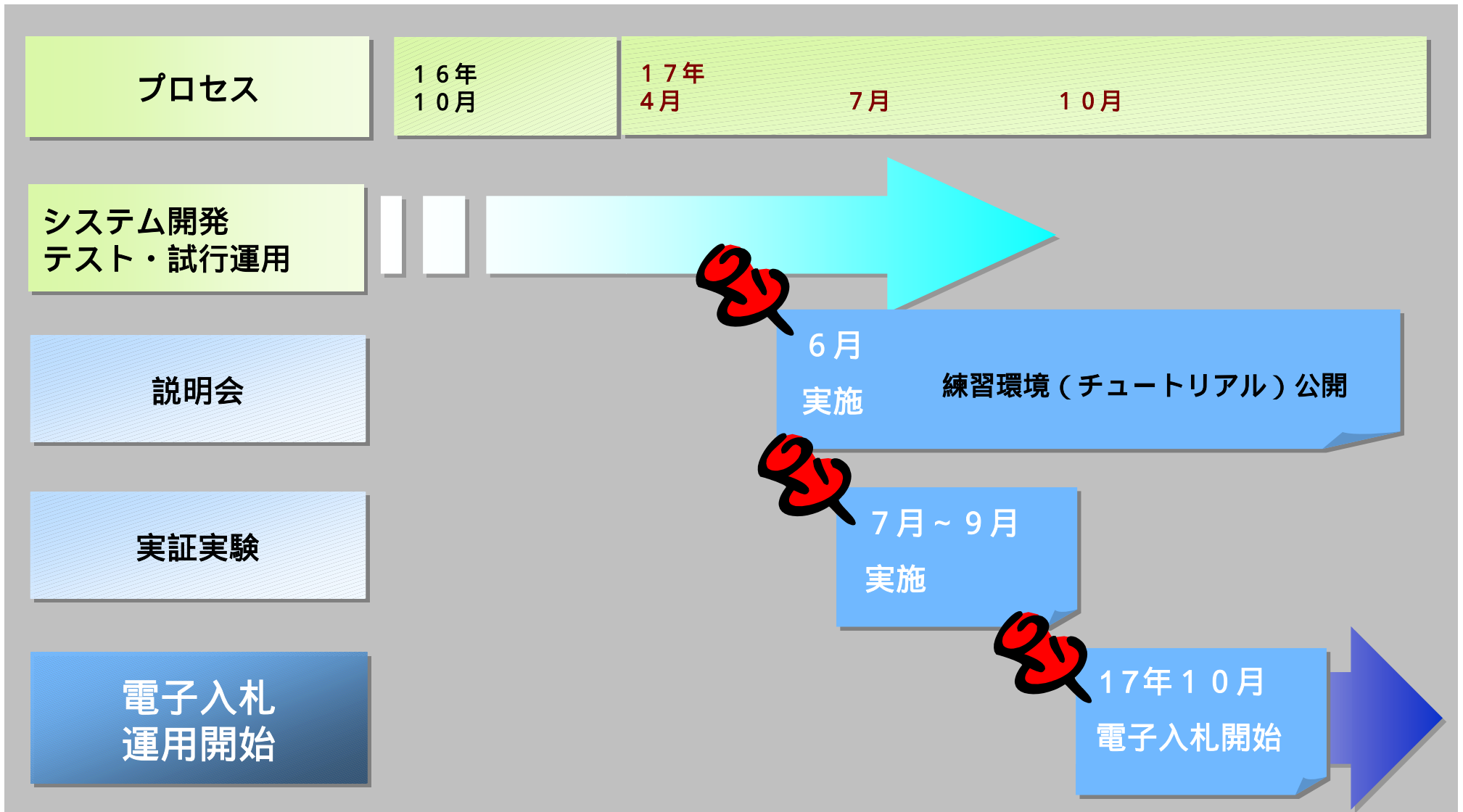
入札に参加される際は、予め入札書にくじ引きとなった場合に使用する任意の3桁の数字を入力していただきます。

実際にくじ引きとなった場合は、その3桁の数字と入札書を提出した順番を組み合わせ、電子入札システムにおいて電子くじを行い、落札者を決定します。

なお、電子くじのルールや、電子入札システムに組み込まれた機能手順についてはホームページ上で公開する予定です。

5 . 熊本県の電子入札導入スケジュール (1)

県



5 . 熊本県の電子入札導入スケジュール(2)

県

		平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	
		10月~	10月~			
建設工事	本庁のみ一部運用	全ての一般競争入札・条件付一般競争入札・公募型指名競争入札対象工事 【土木】対象工事：特Aランク対象の指名競争入札 【建築】対象工事：A1ランク対象の指名競争入札 【その他】対象工事：設計額5千万円以上の指名競争入札		全機関 一部運用		本格運用
		【土木・建築】C、D、Eランク対象の指名競争入札 【その他】設計額2千万円未満の指名競争入札		【すべての調達案件を対象】 (随意契約含む)		
業務委託	本庁のみ一部運用	設計額1千万以上の指名競争入札		全機関 一部運用		本格運用
		設計額1千万円未満の指名競争入札		【すべての調達案件を対象】		

6 . 電子入札システムを利用するための手順

県・市町村共通

1 . 電子入札システムを利用するための準備

パソコン

インターネット

ICカード()

ICカードの購入には、約2週間～1ヶ月程度
が必要です。

2 . 電子入札システムを利用するためのパソコンの設定

所要時間

電子入札対応システムのインストール (ICカード)

5 ~ 10分

J a v aポリシーの設定

5 ~ 10分

3 . 電子入札システムを利用するための手続き

手続きの時期

電子入札システム利用届の提出

9月1日受付開始

利用者登録用パスワードの受領

提出者に順次通知

電子入札システムへの利用者登録

10月3日から登録可

ICカード登録状況報告書の提出

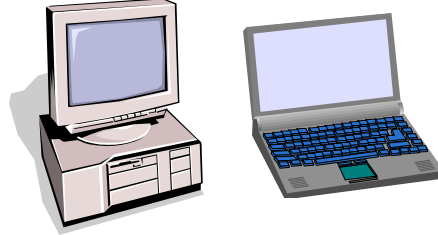
登録後速やかに

7. 電子入札に対応するための準備 (1)

県・市町村共通

インターネット
接続環境の準備

パソコンの購入



電話回線会社、
インターネットプロバイダとの契約



インターネット

認証局対応
ICカードの購入

認証局に対応した
ICカードの購入



ICカードリーダーの購入
ICカードを読み取る装置



説明会への参加



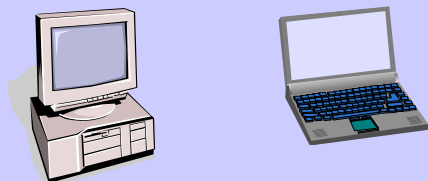
チュートリアルを
利用し
た操作練習
建設技術センターの
操作研修へ
の参加



7. 電子入札に対応するための準備(2)

県・市町村共通

パソコンの購入



【推奨仕様】

- ・ CPU : Pentium 266MHz以上
- ・ メモリ : 128MB以上
- ・ HDD : 500MB
- ・ OS : WIN 9 8、NT、2000、XP
- ・ インターネットブラウザ : ネットスケープ7、インターネットエクスプローラ5.5SP2以上

【価格】

1台 ¥100,000 ~
300,000

認証局に対応した ICカードの購入



【推奨仕様】

電子入札コアシステム対応
認証局の発行するICカード

【価格】

1枚 ¥10,000 ~
¥35,000

有効期間 : 1年から約3年のタイプあり

数量割引あり

ICカードリーダーの購入



【推奨仕様】

ご利用予定のICカード対応及びパソコンに接続可能なICカードリーダー

【価格】

1台 ¥10,000 ~

インターネットプロバイダへの加入
インターネットに接続する為のプロバイダとの契約

【価格】

プロバイダ料金 :

月額 ¥1,500程度から

価格はあくまでも目安を表示しています。

7 . 電子入札に対応するための準備 (3)

県・市町村共通

ハードウェア

パソコン本体: OSがサポートしているPC/AT互換機(DOS/V)
CPU : Pentium IIプロセッサ266MHz同等以上
メモリ: 128MB以上
HDD: 1ドライブに空き容量が500MB以上
FDD: 3.5インチフロッピーディスクドライブ×1
CD-ROM: CD-ROMドライブ×1
ICカードリーダー: ICカード購入先認証局で指定された
カードリーダー
インターフェイス: 認証局の仕様にあったICカードリーダーが
接続可能なインターフェイスがあること。

ICカードを利用するためのソフトウェアによっては、ハードウェアが制限される場合があります。詳細は各認証局へご確認ください。

パソコンはなるべく電子入札専用機としてください。他のソフトやインターネットを利用されると電子入札の利用に支障を及ぼす場合があります。

7 . 電子入札に対応するための準備（4）

県・市町村共通

ソフトウェア	<p>OS: Windows 98, Windows 98SE, Windows NT 4.0(SP5以上) Windows Me, Windows 2000 Professional(SP2以上) Windows XP 全て日本語版 XP SP2については別途対策が必要となります</p> <p>ブラウザ: Internet Explorer 5.5 SP2以上</p> <p>Java: JRE 1.3.1_06 (Java Run Time Environment) 通常は認証局から提供されます。</p> <p>ICカードリーダー用ソフト: 各認証局にてご確認ください</p>
---------------	--

ICカードを利用するためのソフトウェアによっては、対応OS及びブラウザが制限される場合があります。詳細は各認証局へご確認ください。

7 . 電子入札に対応するための準備 (5)

県・市町村共通

ネットワーク等

回線: インターネットへの接続手段として,ダイヤルアップ(一般電話回線,ISDN回線),ADSL又は専用線接続の方法があります。
ADSL,CATV等を推奨

プロバイダ:インターネットを利用するためには,プロバイダ(ISP)との契約が必要となります。

ただし、社内LANを使用する場合、社内のファイアウォールが下記の通信プロトコルの通過を許可されている必要があります。

【通過が必要な通信プロトコル】

HTTP :Hypertext Transfer Protocol

HTTPS :Hypertext Transfer Protocol Security

SMTP :Simple Mail Transfer Protocol

LDAP :Lightweight Directory Access Protocol

7 . 電子入札に対応するための準備（6）

県・市町村共通

電子入札コアシステム対応認証局一覧

- ・ 株式会社NTTアプリエ（旧社名エヌ・ティ・ティ・メディアサプライ株式会社）
- ・ ジャパンネット株式会社
- ・ 株式会社帝国データバンク
- ・ 東北インフォメーション・システムズ株式会社
- ・ 日本商工会議所
- ・ 日本電子認証株式会社
- ・ 四国電力株式会社
- ・ 株式会社中電シーティーアイ
- ・ 株式会社ミロク情報サービス
- ・ 国際認証センター株式会社
- ・ 株式会社エネルギー・コミュニケーションズ

H17.4.1現在

7 . 電子入札に対応するための準備（7）

県・市町村共通

ICカード購入の際の留意事項

発注者と契約締結権限のある方の名前でのカード購入が必要です。

入札、見積りに関する権限を委任していない場合、

代表者

入札、見積りに関する権限を委任している場合、

委任状により委任を受けている方（支店・営業所長等）

7 . 電子入札に対応するための準備 (8)

県・市町村共通

共同企業体の場合のICカード

特定建設工事共同企業体（特定JV）の場合は、代表構成員のICカードと同じものを使用しますので、特定JV専用のICカードは必要ありません。

8 . 電子入札に対応するためのパソコンの設定（1）

県・市町村共通

ICカードのセットアップ

ICカードのセットアップについては、各認証局の手順に従って設定してください。

8 . 電子入札に対応するためのパソコンの設定（2）

県・市町村共通

Javaポリシーの設定

熊本県電子入札共同利用システムのURL をパソコンに設定する必要があります。

各認証局の手順に従って設定してください。

URLについては電子入札ホームページにて公開する予定です。

すでに、他の発注者（国土交通省等）の電子入札システムを利用されている場合にも必ず設定が必要です。

Uniform Resource Locator の略

インターネット上に存在する情報資源(文書や画像など)の場所を指し示す記述方式。インターネットにおける情報の「住所」にあたる。情報の種類やサーバ名、ポート番号、フォルダ名、ファイル名などで構成される。

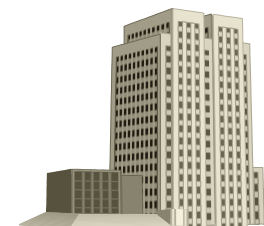
9 . 電子入札システムを利用するための手続き (1)

電子入札利用届

県・市町村共通

熊本市: 受付中
熊本県: H17年9月受付開始

< 発注者 >

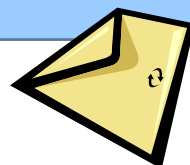


書類提出



利用者登録の際に
必要になります。
大切に保管してく
ださい。

郵送



パスワード発行

9 . 電子入札システムを利用するための手続き (2)

県・市町村共通

電子入札システムの利用者登録

電子入札システムの利用登録画面で、ICカードの利用者登録を行っていただきます（熊本県については10月3日から登録可能です）。



電子入札システムへアクセス

- ・登録番号
- ・商号又は名称
- ・パスワード

熊本県 入札情報サービス 利用者登録

2009年06月09日 09時12分 CALS/EC 電子入札システム

利用者登録処理

利用者登録では、業者情報とICカードの登録を行います。
(※)の項目は、必須入力です。

業者情報

業者名称	: OO建設株式会社
業者郵便番号	: 123-4567
所在地	: 熊本県熊本市OO1丁目23番地
代表者氏名	: 熊本 次郎
代表者役職	: 取締役
代表電話番号	: 000-0000
代表FAX番号	: 000-0000

代表窓口情報 **指名詢はここにメールが送信されます。**

連絡先メールアドレス	: <input type="text"/> (※) (半角100文字以内)
------------	--

ICカード利用部署情報

ICカード企業名称	: OO建設株式会社
ICカード取得者氏名	: 熊本 次郎
ICカード取得者住所	: 熊本県熊本市OO1丁目23番地
連絡先名称(部署名等)	: <input type="text"/> (※) (60文字以内)
連絡先郵便番号	: <input type="text"/> (※) (半角 例: 123-4567)
連絡先住所	: <input type="text"/> (※) (60文字以内)

電子入札システム

9 . 電子入札システムを利用するための手続き（3）

県・市町村共通

利用者登録時の留意事項

ICカードは複数枚の登録ができます。

ただし、複数名義のICカードの登録はできません。

（本社代表者のICカードと支店長のICカードなど）

利用者登録状況の報告

県・熊本市

ICカードによる利用者登録が終了したら、

「電子入札システムICカード登録状況報告書」を速やかに提出してください。

9 . 電子入札システムを利用するための手続き（4）

県・市町村共通

ICカードの取り扱い留意事項（1）

ICカードの破損や紛失したときは、ICカードを発行している認証局にすぐに連絡し、手続きを取ってください。

またPIN番号（暗証番号）を連続して間違えると、ICカードが利用できなくなる場合があります。

9 . 電子入札システムを利用するための手続き（4）

県・市町村共通

ICカードの取り扱い留意事項（2）

ICカードは入札に参加する際に、本人であることを証明する大事なものです。悪用されないように厳重に保管しましょう。

ICカードの保管責任者を決めておく。

鍵の掛かるところに保管する。

10．実証実験の実施について

県

実証実験とは、実際の環境のもと、架空案件による入札を実施し、システムが正しく作動するかを実験するものです。

熊本県では平成17年7月から9月にかけて、電子入札システムの実証実験を行うこととしています。

既にICカードをお持ちの方、ICカードを近日中に購入予定の方は、ご協力をお願いいたします。

電子入札システムのチュートリアル

電子入札システムの練習環境（チュートリアル）についてはホームページで公開しており、どなたでも操作体験ができます。

利用にあたっては、ICカードは必要ありません。

<チュートリアルのアドレス>

http://ebid-portal.kumamoto-idc.pref.kumamoto.jp/tutorial/accepter_index.html